

毎週日曜発行
2022 4/10

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



きょうのテーマ

買い物をするとき、「この商品は誰がどうやって、どんな素材で作ったか」なんて気にしたことある？ 国連の持続可能な開発目標（SDGs）の一つ「つくる責任、つかう責任」は、商品を作



地球のためにできること

プラスチックごみを減らす

事業者と使う側の私たち消費者の両方に問われているテーマだよ。



買うなら長く使える物を

の素材に替えたりすることが求められます。2020年7月のレジ袋有料化では、店でレジ袋を断る人が増え、その数は半減したそうです。でも、作る側の努力だけではプラスチックは減りません。「自分の買い物が

環境にどう影響を与えているか意識しよう」。環境に優しい商品を買う動きを広めるため、企業や自治体などでつくる「みやぎグリーン購入ネットワーク」事務局長の海藤節生さん(64)は、こう呼びかけます。

値段が安く使い捨てできるプラスチックではなく、少し高かったり洗う手間がかかったりしても、繰り返し使える物を買うなど、消費者にできることはたくさんあります。海藤さんは「長く使えて修理できる物、リサイクル可能な素材の物を買うことも大切」と言います。



今月からプラスチックごみを減らすことを目指した新しい法律「プラスチック資源循環促進法」がスタートしました。プラスチックごみが増えすぎ、深刻な環境汚染が海などで広がっているためです。

ストローやスプーンなど使い捨てのプラスチック製品を大量に提供する事業者に、減らす対策を義務付けます。大手スーパーやコンビニエンスストア、ホテルなどが対象で、無料だったのを有料にしたり、プラスチック以外



海岸にたまったプラスチックごみ。今や世界的な問題になっている
|| 沖縄県石垣島



海藤さんは宮城県七ヶ宿町に暮らし、森林を守る活動をしながら子どもたちに自然体験も教えています。木は地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)を吸収し、木でできた製品は土に戻るため無駄がありません。「縄文時代の生活が1万年以上続いたのは、森林と共にあったから。自然を学ぶことは持続可能な生き方を学ぶことにもつながる」と力を込めます。

今週の注目ニュース

◇11日(月) 日本がメートル法を導入
1921年のこの日、長さや重さの単位に関する法律が改正、公布され、「メートル」「グラム」を使うことが決まったよ。ただ「尺」「貫」を使う尺貫法も残り、メートル法への完全移行は1952年なんだ。

今日の紙面

- 2面 イマ★どきりポート
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ